

ともしび

院長通信

新型インフルエンザが地球規模で感染拡大を示しています。平成21年4月30日現在日本では感染は確認されておりませんが、世界10カ国以上で感染者が確認されています。

感染源はメキシコの小さな、人口三千人程度の村ではないかといわれています。その村では2ヶ月ほど前から風邪の症状を示す人が出ていたようですが、インフルエンザという考えはまったくうかばずに一般の風邪として取り扱っていたようでした。この初動対応の遅れも指摘されているようです。

インフルエンザだけでなくすべての感染症対策はまず「予防」が一番大切なのは言うまでもありません。感染症だけでなく生活習慣病でもやはり「予防」が一番です。

日本だけではないでしょうが、いわゆる「予防医学」に予算がつかない国はとて多いようです。理論的には、予防がうまくいって病気になる人が少なくなれば医療関係費用は少なくてすむことになりす。最近ではタバコをやめるために医療保険が適用されたこと

第024号
発行所
両毛病院
編集 広報委員会

1年間を振り返って

私がこの両毛病院に移ってから、この4月でちょうど1年が経ちました。月日が経つのは早いもので、アツという間の出来事でした。そこで今回は、1年という短い期間ではありますが、外部から来た私の目からの両毛病院の他院と比べて気付いた点を幾つか挙げてみたいと思います。

まず1つ目は、季節毎の行事がバラエティーに富んで多い点です。お花見やレク大会、夏祭りや文化祭、クリスマス演奏会などの、その季節その季節に合った催し物は長期入院している患者さん達が忘れがちな四季の移り変わりを体感できる貴重なものであり、多くの精神科病院で行われておりますが、私が働いてきた幾つもの病院と比べて

みても、当院はかなり多い回数催し物が行われていると思います。また単に催し物が多いだけでなく、その自身の充実ぶりも素晴らしいと思います。文化祭は地域の幼稚園や学校が参加して多くの人々にぎわってますし、入院中の患者さん達が1泊2日の旅行に行くなどの催し物は今までの精神科医生活の中で1度も聞いたことがありませんでした。

2つ目の点としては、看護師さんのフットワークの軽さです。入院中の患者さんが夜間に突然急変をきたした際に近隣の総合病院に1人の看護師が付き添わなければならない際に、

昼間働いていた看護師さんでも急遽病院に駆けつけて、総合病院受診中の間に代理を勤めるなどは、なかなかできることではありません。また、医師からの個別な患者さん毎の対応などの中には、なかなか難しい事もあるのに、嫌な顔ひとつせず協力していただけることに対して、いつも感謝しております。ありがとうございます。

3つ目の点としては、施設・環境が充実している点です。作業療法やデイケア、福祉ホームなどの施設があるだけでなく、近隣に大きな総合病院があるのは、地方の医療事情から考えるとかなり恵まれていると思います。また院内を見れば、病院内で採血検査がすぐに出る、美味しい病院食を食事で食べられる（コレはかなり重要！）なども素晴らしいと思います。

今後もしも良い点を伸ばしていき、両毛病院が発展していければと思います。

医務課 高山 晃司

第314号 院長 秋山 一郎



10ピンよ！全部倒れる

2月6日安足地区ボウリング大会が佐野市田島町両毛ゴールドレーンにて開催された。当院からはスパイカーズ・両毛ボンバーズの2チーム8名が参加した。会場に向かう車中では「ボウリングは久しぶりで20年位やっていないから。練習していないから。」と少し不安の声もあつたが、いざ会場につき、シューズを履き替え、ボールを選び練習になるともう真剣な顔になりボールを投げ出す。練習も終わり、いよいよ本番。チーム中の年齢も30代から60代と年齢も幅広い。力一杯投げピンをなぎ倒すボールのスピードは遅いがレーンの中央ピンにあたりストライクかと思つたが1ピンが倒れず残念そう。ガーターの後のストライクでスベア。みんな投げたボールに一喜一憂し、いつのまにか2ゲームが終わつた。

結果は？残念ながら団体・個人共に表彰式で名前を呼ばれる事は・・・帰りは「久しぶりにやつたが思つたより点数が取れたので満足」「まだ物足りない。今後はもう少し練習して望みたい」と各々が感想を話していた。来年もガンバレ！スパイカーズ・両毛ボンバーズ！

看護課

デイケアイン 初午祭

今年も暖冬と言われる中、春の始まりを予感させる初午祭の日がやってきました。

毎年恒例という事もあり、デイケアのメンバーさんの「今年も初午行くんでしょ？」といった声が多く聞かれるようになりました。そして初午当日、なんとパラパラと雨が降り始め誰もが参加をあきらめました。しかし、1人のメンバーさんが立ち上がり、「しんこまんじゅうだけでも買に行きたい」と話されて、しんこまんじゅうを買いに行こうツアーが行われる事となりました。

デイケアを代表する10人が意気揚々と車に乗り込み出発し、田沼へ向かいました。車内では、雨に負けじと初午について話しは弾み、田沼までの道のりはあつという間でした。

田沼に着き、まんじゅうを買いに出たその時です。雨がみぞれに変わりました。すると、1人のメンバーさんが笑い声を上げて「初雪だ」と話しました。周囲のメンバーさんもつられて笑い、天気や露店スタッフの表情とは逆にメンバーの中では笑い声が絶えずありました。その後、しんこまんじゅうを買い、初午祭が終わりました。メンバーさんのしんこまんじゅうにかける情熱に恐れ入つた1日でした。

リハ課

ほっぺが落ちる・・・草もち

3月24日、毎年恒例の草もちつきが院庭にて行われました。風が冷たく感じられましたが、天気に恵まれ、企画実行の役割になつた私としては、ホツとしました。

この日はワールドベースボールクラシックの決勝もやっていて、草もちをつきながら、職員と患者さんが一緒に「よいしょ。よいしょ。」と掛け声が響き、「キヤー、イケー。」など野球の応援も響き、楽しく、ドキドキのひと時を過ごす事が出来ました。野球の方は、白熱した試合で延長10回、5対3で日本が韓国を破り、2度目の優勝となりました。丁度、草もちもつき上がり、たぷりのきな粉で、美味しい草もちを食べ、みんなの笑顔がみられ、幸せな気持ちで春を感じる事が出来ました。

看護課



桜の木の下で・・・

4月6日、秋山川へ患者さんと共にお花見に行つてきました。秋山川まで患者さんと歩きながら「気持ちがいいね」「お天気で良かったね」と話しをしながら向かいました。桜の花も満開に咲きほこり、みなさん「すごくきれいね」と喜んでいました。

澄みきつた青空の下、日光浴や桜の並木道を散歩している患者さんや、楽しそうにバドミントンやサッカー、バレーボールなどで体を動かしている患者さんたちもいました。その姿は、とても見ていて気持ち良くみなさん笑顔で溢れていました。

ほどよく体を動かした後、お茶とお団子を頂きました。隣に座っている人達と話しをしたり、桜の花を見ながら満足そうな顔で美味しそうに食べていました。

日頃、屋外に出る事の少ない患者さん達も普段とは違つた雰囲気を感じることができ、穏やかな表情で過ごされていきました。そして自然に触れ患者さんの心も、いやされたことだと思えました。

看護課



同好会紹介(1)

ソフトボール同好会

3月24日、第30回日本チーム大会2連覇達成!!この快挙は野球ファンならずとも、日本国中が歓喜した。今大会、イチローは打撃不振に悩んでいた。これはサムライジャパン夢の連覇へ向けて大きな壁となつて大会に暗い影を落としていた。日本のライバル韓国は、去年オリンピック優勝でチームは波に乗っている。2勝2敗で迎えた大会決勝戦、日本は打撃の繋がりで先制点を獲得した。9回優勝目前で韓国の粘りで同点にされたが、延長10回表の攻撃、1アウトランナー2・3塁、打席にイチローが入った。日本にとつてはまたとない勝ち越しのチャンスだ。世界中がイチローの打席に注目した。日本勝ち越し!その裏韓国の最後の打者を三振に打ち取り、この瞬間世界が震えた!決戦ラウンドに残るのも難しいとされた今大会を見事連覇で飾つたのだ!サムライ達がほんものの「侍」になつた瞬間だ!『日本力』サムライジャパンの原監督はこう形容した。日本にはアメリカや中南米の選手のように身体能力がずば抜けて良いわけでもなく、1人のスーパースターに頼つたチームでもない。誰かが不調な時は他の誰かが支える。チーム一丸となつてとほまきに日本チームにこそふさわしい。日本の国民性を象徴しているといえるこのカラーが、

今大会では優勝という結果をもたらしたと思えてならない。さて我が両毛病院ソフトボール同好会はどうであるか。「日本力」ならぬ「両毛力」は備わっているだろうか?今回サムライ達が勝利を収めたのにもう一つ大きな理由がある。他国のチームが大会近くで調整を始めたのに対して、日本は昨シーズンが終わつてすぐに選手選考を始め、早めのキャンプをはり大会に至るまで念入りな調整をおこなつた。もしかしたらこの時点ですでに日本の優勝は決まっていたのかもしれない。我が両毛ソフトボール同好会も再び栃木県の頂点を目指し奮起せねばならない!いざ秋の日精看ソフトボール大会に向けて両毛ナインよ起ち上げれ!!

リ八課



少し遅めの新年会

今年はずっと年末年始にノロウイルス、次いでインフルエンザが流行したため、1月に予定されていた新年会が延期となり、2月17日に作業療法室で行われました。毛呂山会館での新年会は中止となつてしまつたため、たくさんの患者さんで作業療法室が埋まりました。少し遅い新年会となつてしまいました。が、楽しみにしてくれていた患者さんも多く、笑顔で参加されていたのが印象に残っています。

遅めの「あけまして、おめでとうございませう。」の挨拶から始まり、何名かの患者さんから今年の抱負の発表がありました。プログラムは進み、季節の歌を歌い、レクリエーションでは福笑いやお正月にちなんだクイズが行われました。福笑いでは、顔のパーツが輪郭から飛び出したひよつとこや、目とほつぺが逆さまになつたおたふくなどが作り出され、会場は大笑いが起こつてました。その後、職員による琴の演奏があり、時に歓声、時に笑い(?)が起こる中、なかなか聴くことのできない琴の音色に聴き入っていました。最後に甘酒とお菓子が配られ、皆さんおいしそうに頂いていました。

2月に入つてからの新年会とあつて違和感があるかと思いましたが、予想に反して楽しい新年会となりました。

リ八課

ハートフルカフェ

2月18日、宇都宮で「心の絵画・書道展」が開かれました。

私達は、ハートフルカフェというボランティアでコーヒーやココアを出す休憩所のお手伝いをしました。他の施設のメンバーさんと協力し合い、会場に来たお客さんにコーヒーやココアを出しました。「いらっしやませ。」「ありがとうございます。」と声を出していると飲みに来てくれていたお客さんたちが帰りに「おいしかったですよ。」「ありがとう。」などと喜んでくれました。やっていると心に、心が通じあつて会話が自然とできるようになりました。とても楽しくできました。

絵画・書道展を見学して、たくさんの作品が一つ一つ個性があつて、とても良かったと思えました。

Tさん



チヨットためになるかな？薬の話

・薬は体の中に入ってから、
どうなるの？..

薬が効果を現すためには、私たちの体の目的の場所（臓器や組織）に到達しなければなりません。

薬が体の中に入ったとは血液の流れに入ることで、そのことを薬が『吸収』されたといえます。経口された（口から入った）薬の多くは、胃の中で溶かされ小腸粘膜から血液の流れに入り肝臓に送られます。また、注射（静脈内）では投与されたその時が薬の『吸収』になります。

吸収された薬は全身を循環（体循環）し、目的の場所で作用を現します。これを薬の『分布』といえます。このとき目的以外の場所で薬が蓄積されると副作用の原因になることがあります。

体の中でとても大切な臓器である脳には、不必要な薬が取り込まれないようにチエックする機能（血液脳関門）があります。同様な機能として血液胎盤関門があり、これは母親のほうから胎児のほうに有害な物が移行しないための関所の役目をしています。薬に対しては血液脳関門ほど厳しいチエックがなされないので、妊娠中の薬の服用には十分な注意が必要となります。

薬剤課

〒327-0843

連絡先
医療法人秋山会
両毛病院

栃木県佐野市堀米町一六四八
〇二八三 二二二 六一五〇